

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 国際石油開発帝石株式会社

コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 俊昭

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット ジェネラルマネージャ (氏名) 橋高 公久

TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	864,039	26.7	507,328	33.9	505,718	38.4	115,856	28.6
23年3月期第3四半期	681,899	10.7	378,795	12.8	365,495	13.9	90,108	11.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 99,582百万円 (43.9%) 23年3月期第3四半期 69,201百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31,733.72	—
23年3月期第3四半期	30,014.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,899,862	2,174,089	71.2
23年3月期	2,680,379	2,097,382	74.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,065,354百万円 23年3月期 1,996,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3,000.00	—	3,000.00	6,000.00
24年3月期	—	3,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3,000.00	6,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,126,000	19.4	658,000	24.2	717,000	41.0	175,000	36.0	47,933.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) INPEX Holdings Australia Pty Ltd、INP EX Ichthys Pty Ltd、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	3,655,810 株	23年3月期	3,655,810 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	4,916 株	23年3月期	4,916 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	3,650,894 株	23年3月期3Q	3,002,194 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施されています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料4ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. その他の情報.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
(6) 重要な後発事象.....	11
4. 参考情報.....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間は前年同期と比べ為替が円高に推移したものの、油価高・ガス価高が寄与して売上高は前年同期比1,821億円、26.7%増の8,640億円となりました。このうち原油売上高は前年同期比1,222億円、30.5%増の5,231億円、天然ガス売上高は前年同期比568億円、21.8%増の3,176億円となりました。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比936千バレル、1.6%増加の59,022千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比23,544百万立方フィート、7.9%減少の275,895百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比23,626百万立方フィート、9.3%減少の231,011百万立方フィートとなり、国内天然ガスは、前年同期比2百万立方メートル、0.2%増加の1,203百万立方メートル、立方フィート換算では44,884百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり111.33米ドルとなり、前年同期比32.55米ドル、41.3%の上昇となりました。海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり13.54米ドルとなり、前年同期比4.89米ドル、56.5%の上昇となりました。また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり43円79銭となり、前年同期比2円21銭、5.3%の上昇となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル79円10銭となり、前年同期比7円86銭、9.0%の円高となりました。

売上高の増加額1,821億円を要因別に分析しますと、天然ガスの販売数量の減少により149億円の減収要因、販売単価の上昇により2,717億円の増収要因、為替は売上の平均為替レートが円高になったことにより777億円の減収要因、その他の売上高は30億円の増収要因となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉦区における売上増に伴うロイヤリティの増加により前年同期比490億円、20.0%増の2,939億円となりました。探鉦費は主に米州の探鉦活動が増加したことにより、前年同期比8億円、8.7%増の105億円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比37億円、7.6%増の522億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比1,285億円、33.9%増の5,073億円となりました。

営業外収益は、持分法による投資利益や持分変動利益の増加により、前年同期比54億円、31.2%増の231億円となりました。営業外費用は探鉦事業引当金繰入額及び生産物回収勘定引当金繰入額の減少に加え、前年同期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が当第3四半期連結累計期間は無かったことなどにより、前年同期比61億円、20.0%減の247億円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比1,402億円、38.4%増の5,057億円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比1,163億円、45.1%増の3,741億円、法人税等調整額は63億円となり、少数株主損益調整前四半期純利益は前年同期比279億円、28.7%増の1,252億円となりました。少数株主利益は94億円となり、以上の結果、四半期純利益は前年同期比257億円、28.6%増の1,158億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 日本

天然ガス及び石油製品の販売価格が上昇したことにより、売上高は前年同期比62億円、8.6%増の787億円となりましたが、営業利益は天然ガス買入高が増加したことにより前年同期比33億円、21.8%減の120億円となりました。

## ② アジア・オセアニア

原油・天然ガス販売量の減少及び為替が円高に推移したものの、油価及びガス価の上昇により、売上高は前年同期比465億円、15.1%増の3,555億円、営業利益は前年同期比356億円、19.8%増の2,161億円となりました。

## ③ ユーラシア(欧州・NIS諸国)

為替が円高に推移したものの、油価の上昇により、売上高は前年同期比148億円、31.7%増の617億円、営業利益は前年同期比103億円、43.2%増の342億円となりました。

④ 中東・アフリカ

油価高及び原油販売量の増加に伴い、売上高は前年同期比1,214億円、50.0%増の3,641億円、営業利益は前年同期比921億円、55.2%増の2,589億円となりました。

⑤ 米州

原油販売量の減少により、売上高は前年同期比69億円、64.5%減の38億円となり、探鉱費の増加により営業損失は前年同期比47億円、326.1%増の61億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2兆8,998億円となり、前連結会計年度末の2兆6,803億円と比較して2,194億円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、現金及び預金が1,406億円増加したほか、有価証券が746億円増加したことによります。

一方、負債は7,257億円で、前連結会計年度末の5,829億円と比較して1,427億円の増加となりました。このうち流動負債は3,662億円で、前連結会計年度末比1,115億円の増加、固定負債は3,595億円で、前連結会計年度末比312億円の増加となりました。

純資産は2兆1,740億円となり、前連結会計年度末比767億円の増加となりました。このうち、少数株主持分は1,087億円で、前連結会計年度末比82億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想については、平成24年3月期第3四半期連結累計期間の実績などを加味した結果、平成23年12月8日に公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

連結通期業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,068,000	600,000	669,000	165,000
今回修正予想（B）	1,126,000	658,000	717,000	175,000
増減額（B－A）	58,000	58,000	48,000	10,000
増減率（％）	5.4	9.7	7.2	6.1

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 （ブレント）	上期（実績）	114.7ドル/バレル	上期（実績）	114.7ドル/バレル
	下期	95.0ドル/バレル	下期 ※1	102.0ドル/バレル
	通期平均	104.8ドル/バレル	通期平均	108.3ドル/バレル
為替 （対米ドル）	上期（実績）	79.8円/ドル	上期（実績）	79.8円/ドル
	下期	75.0円/ドル	下期 ※2	76.2円/ドル
	通期平均	77.4円/ドル	通期平均	78.0円/ドル

※1 第3四半期実績 109.0ドル/バレル、及び第4四半期予想 95.0ドル/バレルによる。

※2 第3四半期実績 77.4円/ドル、及び第4四半期予想 75.0円/ドルによる。

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

当四半期連結会計期間に特定子会社となった会社 2社（INPEX Holdings Australia Pty Ltd及びINPEX Ichthys Pty Ltd）

同2社は設立に伴う出資により当第2四半期連結会計期間から連結範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間に資産移転契約に基づく現物出資に伴って、同2社の資本金額が当社の資本金額の100分の10以上に相当したため、特定子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	112,395	253,002
受取手形及び売掛金	95,391	116,307
有価証券	207,165	281,780
たな卸資産	12,137	12,733
その他	78,983	83,031
貸倒引当金	13,141	12,327
流動資産合計	492,932	734,528
固定資産		
有形固定資産	379,861	351,368
無形固定資産		
のれん	101,362	96,291
その他	147,748	142,167
無形固定資産合計	249,110	238,459
投資その他の資産		
投資有価証券	975,541	964,614
生産物回収勘定	534,330	572,649
その他	159,533	159,946
貸倒引当金	270	229
生産物回収勘定引当金	96,879	114,183
探鉱投資引当金	13,780	7,291
投資その他の資産合計	1,558,474	1,575,506
固定資産合計	2,187,447	2,165,334
資産合計	2,680,379	2,899,862
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,441	27,277
短期借入金	4,441	4,008
未払法人税等	113,101	119,790
探鉱事業引当金	9,537	4,233
役員賞与引当金	127	98
資産除去債務	3,686	3,265
その他	100,393	207,561
流動負債合計	254,728	366,235
固定負債		
長期借入金	268,706	295,274
退職給付引当金	6,979	6,532
特別修繕引当金	443	411
資産除去債務	8,965	8,977
その他	43,173	48,343
固定負債合計	328,268	359,538
負債合計	582,997	725,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	679,287	679,287
利益剰余金	1,047,431	1,141,382
自己株式	5,248	5,248
株主資本合計	2,012,280	2,106,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,455	8,286
為替換算調整勘定	16,847	32,590
その他の包括利益累計額合計	15,391	40,877
少数株主持分	100,493	108,735
純資産合計	2,097,382	2,174,089
負債純資産合計	2,680,379	2,899,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	681,899	864,039
売上原価	244,882	293,937
売上総利益	437,016	570,102
探鉱費	9,707	10,548
販売費及び一般管理費	48,514	52,225
営業利益	378,795	507,328
営業外収益		
受取利息	2,987	3,143
受取配当金	3,143	3,066
持分法による投資利益	3,576	5,600
持分変動利益	3,644	6,685
その他	4,264	4,612
営業外収益合計	17,616	23,108
営業外費用		
支払利息	816	876
生産物回収勘定引当金繰入額	12,667	10,725
探鉱事業引当金繰入額	3,411	779
投資有価証券評価損	1,140	5,391
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,555	-
為替差損	1,920	2,618
その他	9,405	4,327
営業外費用合計	30,915	24,718
経常利益	365,495	505,718
税金等調整前四半期純利益	365,495	505,718
法人税、住民税及び事業税	257,766	374,115
法人税等調整額	10,394	6,333
法人税等合計	268,160	380,449
少数株主損益調整前四半期純利益	97,334	125,269
少数株主利益	7,225	9,413
四半期純利益	90,108	115,856

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,334	125,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,958	9,738
為替換算調整勘定	13,082	14,339
持分法適用会社に対する持分相当額	2,092	1,608
その他の包括利益合計	28,133	25,687
四半期包括利益	69,201	99,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,542	90,370
少数株主に係る四半期包括利益	4,658	9,211

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ア フリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	72,531	309,029	46,855	242,665	10,818	681,899	—	681,899
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	72,531	309,029	46,855	242,665	10,818	681,899	—	681,899
セグメント利益又は損失 (△)	15,356	180,503	23,925	166,846	△1,449	385,182	△6,387	378,795

(注) 1 セグメント利益の調整額△6,387百万円は、セグメント間取引消去174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,561百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	アジア・ オセアニア	ユーラシ ア(欧州・ NIS諸国)	中東・ア フリカ	米州	計		
売上高								
外部顧客への売上高	78,794	355,578	61,714	364,110	3,840	864,039	—	864,039
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	78,794	355,578	61,714	364,110	3,840	864,039	—	864,039
セグメント利益又は損失 (△)	12,010	216,176	34,266	258,993	△6,178	515,268	△7,940	507,328

(注) 1 セグメント利益の調整額△7,940百万円は、セグメント間取引消去171百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△8,111百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 インペックスマセラアラフラ海石油株式会社の権益譲渡

連結子会社のインペックスマセラアラフラ海石油株式会社(以下、同社)は、同社が開発準備作業を実施しておりますインドネシア共和国アラフラ海マセラ鉱区の権益(参加権益90%)のうち30%を平成23年7月22日付でShell Upstream Overseas Services (I) Limited社に譲渡することに合意しておりましたが、今般、当該譲渡に関するインドネシア政府当局の承認等が得られたことにより、平成23年12月8日付で当該譲渡が発効いたしました。

ただし、同社の決算日は連結決算日と異なり12月31日であり、当第3四半期連結累計期間の連結財務諸表では、同社の平成23年9月30日現在の財務諸表を連結しているため同鉱区の権益譲渡が反映されておりません。当該権益譲渡は第4四半期連結会計期間において認識され、当連結会計年度の経常利益及び税金等調整前当期純利益に対してそれぞれ約680億円増加要因となる見込です。

2 オーストラリア イクシスLNGプロジェクトの最終投資決定

連結子会社INPEX Ichthys Pty Ltd、INPEX Operations Australia Pty Ltd及び持分法適用関連会社Ichthys LNG Pty Ltdの豪州グループ会社を通じて、TOTAL E&P Ichthys社とともに推進するオーストラリア イクシスガス・コンデンセート田の開発プロジェクトについて最終投資決定を平成24年1月13日に行いました。

- (1) イクシス LNG プロジェクト オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、同連邦北部準州のダーウィンに建設する陸上 LNG プラントにて液化し、LNG 及び液化石油ガス(LPG)として生産・出荷するとともに、洋上貯油・出荷施設(FPSO)等からコンデンセートを生産・出荷するプロジェクト
- (2) 投資額 総投資額 340 億米ドル、うち当社グループ負担分(72.805%※)は 247 億米ドル(約 1.9 兆円)
- (3) 生産開始(予定) 平成 28 年 12 月末まで
- (4) 埋蔵量(予定) 年間 800 万トン超の LNG を約 20 年の長期にわたり生産できる規模
- (5) 生産量(予定) LNG 年間 840 万トン、LPG 年間約 160 万トン及びコンデンセート日量約 10 万バレル(ピーク時)

※ 当社グループのイクシスLNGプロジェクト保有権益(プロジェクト全体の76%)のうち、既に大阪ガス株式会社(1.2%)、東邦ガス株式会社(0.42%)、東京ガス株式会社(1.575%)への一部譲渡について当事者間で合意しており、これら全ての譲渡に対する豪州政府当局からの承認をもって当社グループのイクシスLNGプロジェクト権益比率は72.805%となります。

4. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
日本	原油	1.0百万バレル (日量3.5千バレル)	0.9百万バレル (日量3.4千バレル)
	天然ガス	31.7十億CF (日量115.3百万CF)	30.3十億CF (日量110.3百万CF)
	小計	6.3百万BOE (日量22.8千BOE)	6.0百万BOE (日量21.7千BOE)
	石油製品	177.8千kl (1,118.1千バレル)	181.6千kl (1,142.2千バレル)
	ヨード	324.0t	317.3t
	発電	128.0百万kWh	153.5百万kWh
アジア・オセアニア	原油	19.5百万バレル (日量71.0千バレル)	17.2百万バレル (日量62.4千バレル)
	天然ガス	246.8十億CF (日量897.5百万CF)	213.0十億CF (日量774.4百万CF)
	小計	60.7百万BOE (日量220.6千BOE)	52.7百万BOE (日量191.5千BOE)
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	7.7百万バレル (日量28.2千バレル)	6.9百万バレル (日量24.9千バレル)
中東・アフリカ	原油	36.3百万バレル (日量132.2千バレル)	41.8百万バレル (日量152.2千バレル)
米州	原油	2.1百万バレル (日量7.5千バレル)	1.5百万バレル (日量5.3千バレル)
	天然ガス	23.0十億CF (日量83.7百万CF)	20.8十億CF (日量75.5百万CF)
	小計	5.9百万BOE (日量21.5千BOE)	4.9百万BOE (日量17.9千BOE)
合計	原油	66.7百万バレル (日量242.4千バレル)	68.3百万バレル (日量248.2千バレル)
	天然ガス	301.6十億CF (日量1,096.6百万CF)	264.0十億CF (日量960.1百万CF)
	小計	116.9百万BOE (日量425.2千BOE)	112.3百万BOE (日量408.2千BOE)
	石油製品	177.8千kl (1,118.1千バレル)	181.6千kl (1,142.2千バレル)
	ヨード	324.0t	317.3t
	発電	128.0百万kWh	153.5百万kWh

(注)1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。

2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。

3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から12月30日の実績となっております。

5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第3四半期連結累計期間は原油95.4百万バレル(日量347.0千バレル)、天然ガス407.3十億CF(日量1,481.0百万CF)、合計163.3百万BOE(日量593.8千BOE)、当第3四半期連結累計期間は原油95.6百万バレル(日量347.5千バレル)、天然ガス366.2十億CF(日量1,331.7百万CF)、合計156.6百万BOE(日量569.5千BOE)となります。

6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量

7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。

8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。

9 数量は単位未満を四捨五入しております。

10 前連結会計年度より国内の天然ガスの熱量換算係数を変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の生産量を記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の変更前の天然ガスの生産量は、日本セグメントは30.8十億CF(日量111.9百万CF)、全セグメント合計では300.6十億CF(日量1,093.1百万CF)であります。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
		販売量	売上高	販売量	売上高
日本	原油	74千バレル	556	100千バレル	954
	天然ガス (LPGを除く)	44,802百万CF	49,918	44,884百万CF	52,667
	LPG	174千バレル	1,915	165千バレル	1,937
	その他		20,141		23,235
	小計		72,531		78,794
アジア・オセアニア	原油	14,804千バレル	104,474	10,440千バレル	96,094
	天然ガス (LPGを除く)	231,571百万CF	187,288	210,194百万CF	243,943
	LPG	2,984千バレル	17,267	2,366千バレル	15,540
	小計		309,029		355,578
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	原油	6,627千バレル	46,855	6,723千バレル	61,714
中東・アフリカ	原油	35,559千バレル	242,665	41,718千バレル	364,110
米州	原油	1,022千バレル	6,411	41千バレル	305
	天然ガス (LPGを除く)	23,066百万CF	4,406	20,817百万CF	3,535
	小計		10,818		3,840
合計	原油	58,085千バレル	400,963	59,022千バレル	523,179
	天然ガス (LPGを除く)	299,439百万CF	241,612	275,895百万CF	300,147
	LPG	3,159千バレル	19,182	2,531千バレル	17,477
	その他		20,141		23,235
	合計		681,899		864,039

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から9月の業績を第3四半期として連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。  
 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。  
 4 前連結会計年度より国内の天然ガスの熱量換算係数を変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間につきましても、変更後の販売量を記載しております。  
 なお、前第3四半期連結累計期間の変更前の天然ガス販売数量は、日本セグメントは43,172百万CF、全セグメント合計では297,809百万CFであります。  
 5 主要相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プラタミナへの販売の大部分は天然ガスであり、LNGとして日本をはじめ、韓国、台湾等の需要家へ販売しております。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プラタミナ	194,029	28.5	161,333	18.7